

NI-FieldPoint 4.0.1 の使用方法

FieldPoint Explorer 3.0.2は、単体のツールとして[c]FieldPointの構成や動作確認を行いました。NI-FieldPoint 4.0.1では、その機能がMeasurement & Automation Explorer(以下、MAX)に統合されました。MAXを使用して[c]FieldPointを設定する方法を示します。

この文書は、初めて[c]FieldPointを使用する場合だけでなく、通信モジュールやI/Oモジュールが正常に動作しない場合のトラブルシューティングにも有効です。

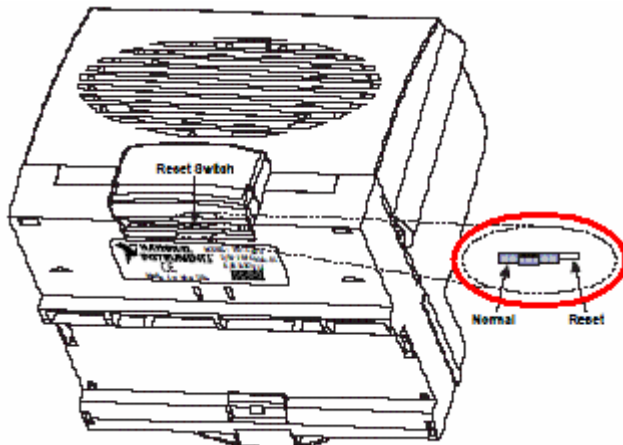
用意するもの

- NI-FieldPoint 4.0.1がインストールされたPC
- 通信モジュール(FP-1600 / FP-1601 / [c]FP-20xx、ここでは例として、FP-2000)
- 通信モジュールの電源
- I/Oモジュール(ここでは例として、FP-TC-120)
- ターミナルブロック
- イーサネットケーブル(クロスもしくはストレート)

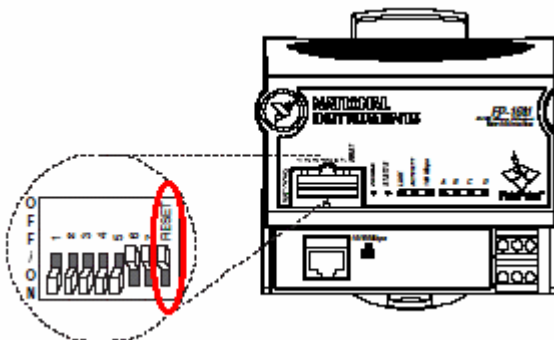
通信モジュールのIPアドレスをリセットする (通信に何らかの不具合があった際にも有効です)

1. 通信モジュールのResetスイッチの場所を確かめる。

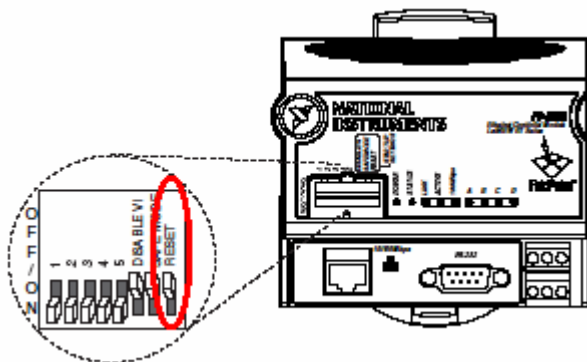
FP-1600



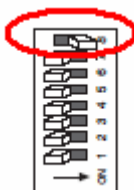
FP-1601



FP-20xx



[c]FP-20xx



2. **Reset**スイッチをONにしてから、通信モジュールの電源をONにする。
3. **Status LED**が点滅したら、通信モジュールのIPアドレスはリセットされたことになります。点滅し始めたら、通信モジュールの電源をOFFにする。
4. **リセット**スイッチをOFFに戻して、通信モジュールの電源をONにする。

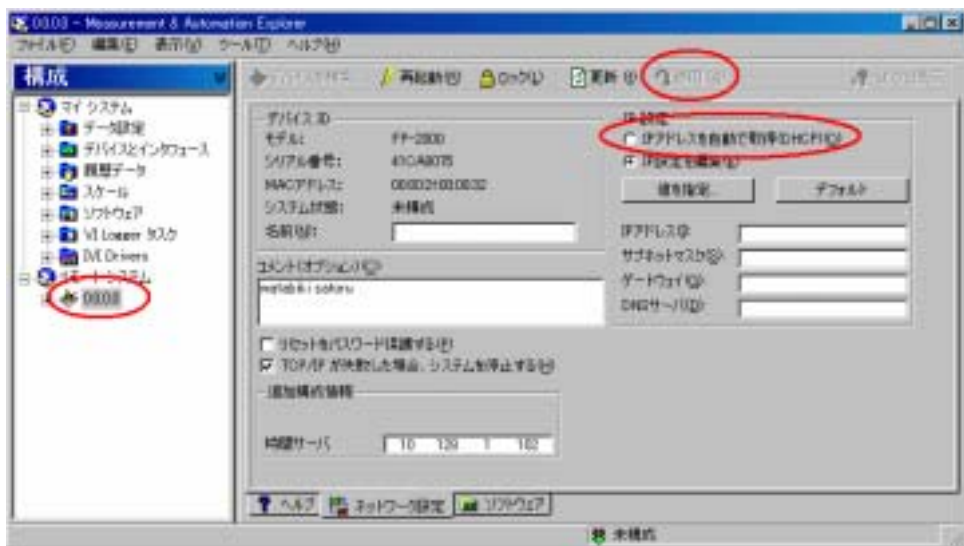
PCと通信モジュールを接続する

PCと直接接続する場合には、クロスケーブルを使用する。ハブを経由して接続する場合には、ストレートケーブルを使用します。

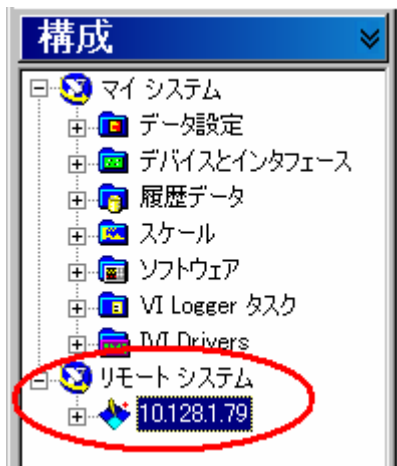
ここでは、ストレートケーブルを使用する場合について、記述します。

通信モジュールにIPアドレスを設定する

1. FP-1600もしくはFP-1601を使用する場合は、DHCPが対応していません。最初に、Windowsのコマンドラインを使用して、通信モジュールに割り当てる予定のIPアドレスが空いているかを確認します。[c]FP-20xxはDHCPが対応しているので、空いているIPアドレスを自動的に取得することができます。
2. MAXを開き、**F5**キーを押し、設定状況を更新する。
3. (画面の左側)リモートシステムを開くと、その下にIPアドレスがリストされます。(もし既に何らかの名前が設定されている場合には、IPアドレスの代わりに何らかの名前が入っています。)
4. **IPアドレスを自動で取得(DHCP)**を選択して、**適用**をクリックする。再起動を求められるので、再起動をする。

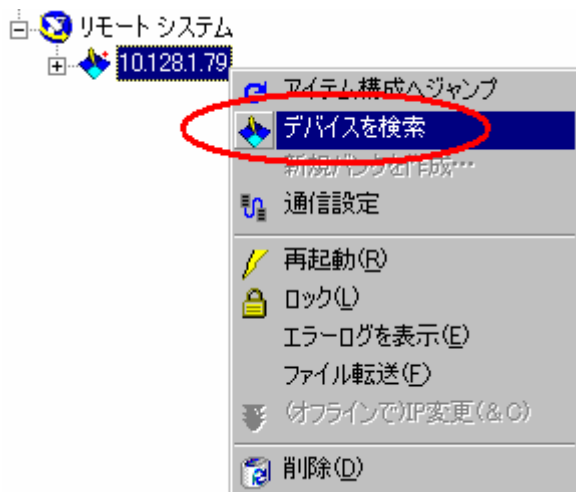


5. 通信モジュールが起動すると、リモートシステムの下に設定したIPアドレスがリストされる。

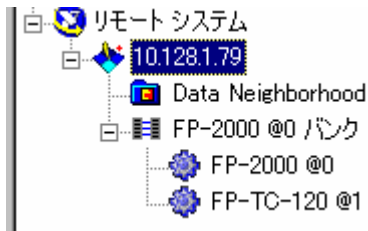


I/Oモジュールを設定する

1. リモートシステムの下にリストされたIPアドレスを右クリックして、**デバイスを検索**を選択する。

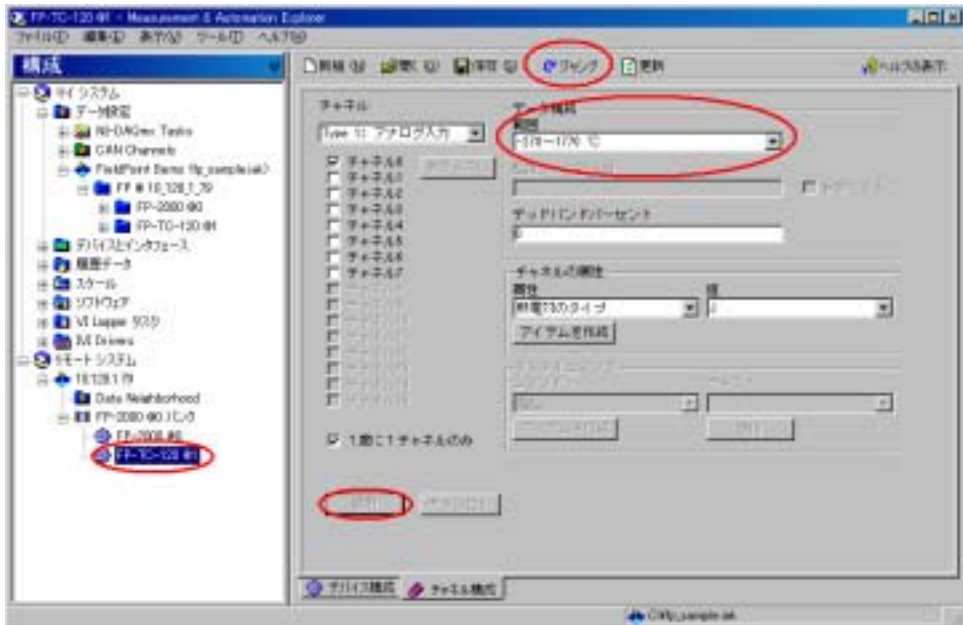


2. このように階層式に表示されます。



I/Oモジュールを設定して、測定する

1. I/Oモジュールを選択し、使用するチャンネルの範囲から適切なものを選択する。他にも必要なパラメータがあれば選択する。全て設定したら、適用をクリックする。



2. ジャンプをクリックすると、データ設定の階層にジャンプする。開始をクリックすると測定を始める。出力モジュールを使用する場合には、チャンネルを選択してから書き込みをクリックする。

